

国語科学習指導案

令和3年5月20日(木) 第2学年1組(1年1組教室) 指導者 長嶋 愛香

【単元】そうぞうしたことをしょうかいしよう(『スイミー』光村図書2年上)

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることについての知識及び技能((1)オ)	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する能力(C(1)エ)	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度
児童の実態	- 生活経験や学習経験の中で用いられている語句を中心に、自分の語彙として獲得した語句が増えてきている。 - 読んだことのない物語の中で用いられている語句や語句相互の意味関係の理解をすることに課題がある。	- 文学的な文章について、登場人物がしたことや言ったことを捉え、内容の大体を理解しながら読むことができる。 - 文学的な文章について、複数の場面の様子や登場人物の行動と結び付け、口調や様子等を具体的にイメージしながら読むことに課題がある。	- 擬人化された登場人物が出てくる物語を好んで読み、休み時間や休日に進んで読書を行うことができる。 - 文学的な文章を読んで、自分が想像したことを友達に進んで伝えようとするに苦手意識をもっている。
価値	・『スイミー』は登場人物のスイミーを中心に物語が構成されている文学的な文章である。文学的な文章は、言葉を手掛かりとしながら豊かに想像する力を養うことができる。『スイミー』を読んで、想像したことを聴き合ったり音読したりする活動は、互いの生活経験や学習経験を基にしながら、理解の難しい語句や語句相互の意味関係の理解をしていくことを促す。また、自分の着目した場面と友達の着目した場面の様子の共通点や相違点から、本文の叙述同士を結び付け、登場人物の行動を想像するためのきっかけを得ることも可能とする。そのため、自分が想像したことを友達に進んで伝えようとする。 ・「ミサイルみたいに」「ゼリーのよう」等の比喻や「かんがえた」の反復、体言止め等の表現の工夫が多いため、場面の様子を捉える際に、用いられている語句に着目しやすくなっている。そこから、語句や語句相互の意味関係を明らかにしようとする意識が自然と生まれる。そのため、文章を読みながら、語彙を豊かにすることができる。	・『スイミー』は海の中を舞台に、体の色が兄弟と異なるスイミーが悲しんだり、活躍したりする出来事が描かれている。この物語は全体を大きく5つの場面に分けることができる。それぞれの場面でのスイミーの様子が異なり、場面の様子を登場人物の行動と結び付けながら、具体的にイメージをして読むことが楽しめるようになっている。そのため、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する能力を高めることができる。	・『スイミー』の中では、スイミーは、小さな魚でありながら、他の魚と会話を行うことができ、人間のように悲しみに暮れたり、そこから立ち直ったりする。また、大きな魚に勇敢に立ち向かう方法を考える。こうしたスイミーの様子や行動に共感しながら物語を読むことができるため、思いや考えを伝えたいくなる。そのため、楽しんで読書をし、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。
見方・考え方	『スイミー』で用いられている言葉の意味、働き、使い方に着目しながら、対象と言葉、言葉と言葉との関係を捉えたり問い直したりして、文学的な文章を読み味わうこと。		
今後の学習	2年「お気に入りの本をしょうかいしよう(『お気に入りの本をしょうかいしよう』『ミリーのすてきなぼうし』光村図書2年上)」において、読んで感じたことや分かったことを共有しながら、自分のお気に入りの本を紹介する学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	『スイミー』を読み、行動描写と場面の様子とを結び付けながら、登場人物の行動を具体的に想像することができる。			
言語活動	『スイミー』を読み、想像したことを聴き合ったり、音読したりする活動			
評価 規準	(①知・技)身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使いながら、語彙を豊かにしている。(C(1)オ) (②思・判・表)「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) (③主体的態度)進んで場面の様子の叙述に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って想像したことを聴き合おうとしたり、紹介文を書こうとしたりしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法(観点)＞※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○『スイミー』を読んで感想を書き、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 学習課題 『スイミー』について想像したことを紹介しよう	○想像したことを紹介することに対する課題意識を高められるよう、「好きな場面」の視点で書いた初発の感想を、場面ごとに類型化して板書する。	◇『スイミー』を読んで分からないことや好きな場面とその理由を発言したり記述したりしている。 ＜発言・ノート③＞
ふかめる	1	○『スイミー』の場面の数を確かめ、あらすじを捉える。	○登場人物の行動の大体を捉えられるよう、学習用語「あらすじ」とそれをまとめる文型を提示する。	◇「(～している)スイミー。」の文型で、5つの場面をそれぞれ短い言葉でまとめて記述している。 ＜ノート③＞
	5	○『スイミー』を読み、想像したことを聴き合ったり、音読したりする。 ・兄弟たちと楽しく暮らしていたスイミー (最初～P.64L.5) ・まぐろから逃げるスイミー (P.66 L.1～P.67 L.10) ・おもしろいものを見て元気になるスイミー (P.68 L.1～P.69 L.10) ・小さな赤い魚を見付けるスイミー (本時) (P.70 L.1～P.71 L.10) ・小さな赤い魚と協力して大きな魚を追い出すスイミー (P.72 L.1～最後)	○登場人物の行動を想像する際に、根拠となる叙述に着目できるよう、ペアで書き込みができる本文シートを用意する。 ○登場人物の行動を具体的に想像できるよう、「したことを表す言葉」と五感を観点として提示する。	◇登場人物の行動を想像する際に、場面の様子に関わる叙述を指摘している。 ＜発言・本文シート①＞ ◇「したことを表す言葉」を中心に、複数の叙述をつなげて、登場人物の行動について具体的に想像したことを発言したり記述したりしている。＜発言・本文シート②＞
	3	○想像したことを基に、『スイミー』の好きな場面の紹介文を書く。	○好きな場面を明確にした紹介文を書けるよう、文章構成「始め・中・終わり」とあらすじを用いた文章のモデルを提示する。	◇これまでに想像したことを基に、自分の好きな場面とその理由を紹介文として書いている。＜原稿用紙③＞
ふかりえる	1	○紹介文を読み合い、単元の学習の振り返りをする。	○登場人物の行動を具体的に想像できたことを実感できるよう、初発の感想と紹介文とを照らし合わせながら、紹介文を読み返す機会を設定する。	◇学習課題の解決状況に関わって、積極的に音読しながら想像したことを友達と聴き合うという学び方のよさを発言したり記述したりしている。＜発言・ノート③＞

本時の学習（6／11時間目）

ねらい 小さな赤い魚を見つけたスイミーの行動について、想像したことを聴き合ったり、音読したりすることを通して、本文の叙述を基に、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

評価項目 「したことを表す言葉」を中心に、複数の叙述をつなげて、登場人物の行動について具体的に想像したことを発言したり記述したりしている。

<発言・本文シート②>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・「出てこいよ。みんなであそぼう。」の言い方（音読）が何だか、楽しそうな感じだけど、このスイミーは、楽しそうってことかな。（課題意識） めあて：4場面のスイミーのしたことを想像したり、音読したりしよう	○互いの音読や想像の違いを基に、スイミーの行動を想像することに関する課題意識をもてるよう、スイミーの会話を工夫して音読している児童の家庭学習を取り上げ、「音読から伝わってくるスイミーのこと」を問いかける。
2 4場面を中心に、想像したことを聴き合ったり音読したりすることを繰り返す。 ・スイミーが楽しそうなのは、ここに「おもしろいもの」ってあるからだよ。前の場面で、ゼリーみたいなくらげとか、色々とおもしろいものがあったよね。 ・私は元気を取り戻して、楽しそうなスイミーを想像したけど、ペアの友達は違うスイミーを想像しているかもしれないのか。ちょっと聞いてみようかな。 ・ペアの友達は、スイミーが見付けたのは兄弟の生き残りだって想像したのか。それで、驚いた感じに読んでいたのだな。あれ。でも、スイミーの兄弟は食べられちゃったのではないかな。 ・「スイミーのと」が分からないのか。これは、「スイミーの兄弟と」ってことだよ。兄弟にそっくりだから、また会えた気がしてうれしくなったんだよ。 ・やっぱり驚いた感じに音読するのは違うかな。本当の兄弟ではないけど、そっくりの魚がいて、スイミーはうれしい感じなんだよ。（課題を解決した意識）	○想像したことと本文の叙述とを関連付けながら具体的に想像できるよう、拡大して書き込めるようにした本文シートを用意し、想像したことに関係がある叙述に印を付けるよう促す。 ○互いの想像したことを聴き合えないペアが、ペアの友達の想像したことを受け止めながら聴き合うことができるよう、自分の想像したことを伝えるだけでなく、友達の想像したことを尋ねるよう助言する。 ○想像する中で、理解できない語句の意味を確かめたり、想像したことを伝えたりできるよう、本文シートを用いながら、想像したことを友達と聴き合っているペアを称賛する。 ○複数の叙述をつなげて想像するきっかけを得られるよう、うまく想像できないことがあるペアを意図的に取り上げ、解決の糸口を問いかける。 ○音読することで想像したことを確かめられるよう、本文シートを基に、4場面の会話文のみを音読し、録音したものをペアの友達と聴くよう促す。 ○4場面のスイミーの行動を想像することについての達成感や課題を実感できるよう、「分かったこと／まだよく分からないこと」「できたこと」の視点を提示し、振り返りシートに記述するよう促す。
3 本時の学習の振り返りをする。 ・今日はスイミーがそっくりの魚を見付けたから、うれしくなったっていうことがよく分かったな。最後の音読でも、うれしい感じに音読できたと思うよ。	